

12月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信をしていますので、ご覧ください。

市民クラブ 中村 浩 議員

市長の再出馬について

(質問) 「やさしさ あふれるNO1都市 鈴鹿」について。

(答弁) 福祉の面に力を注いでいく。介護予防事業の推進、障がい者雇用率の向上、医療費の助成対象、予防接種の対象拡大など、経済的・精神的な負担軽減、子育て支援と幼児教育の一体的なサービス

提供の環境整備などに引き続き取り組んでいきたい。2期目への抱負としては、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築、地域の実情に応じた子ども子育て支援新制度に向けての取組み、幼保一元化も視野に入れた環境整備、育児不安や育児ストレスを抱えた保護者のための安らぎの場の提供、子育て機能を集約した利便性を向上させた環境整備、一次救急医療と二次救急医療の連携や小児救急医療など、更に救急医療体制を充実させ、安心を提供していきたい。

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

コミュニティスクールについて

(質問) コミュニティスクールの現状の評価と今後の方向性についての考え方はどうか。

(答弁) 市が実施した調査などから、コミュニティスクールによる学校づくりの必要性や良さが少しずつ理解されてきていると考える。今後の方向性については①学校・家庭・地域が共通の目指すべき目標に向かって、それぞれの立場での役割

割をしっかりと果たしていく②まちづくり協議会など地域団体との連携を進め、まちづくりと一体となった学校づくりを目指していく③小中学校が連携した教育活動の可能性を検討していく④一定条件の中で学校予算を組み替える事の出来る学校裁量予算制度を導入し学校分権を図りたい⑤学校運営協議会委員による学校づくりの提言やアクションプランの作成を通じた学校運営への主体的な参加を促進させたい、などと考える。

その他の質問 ○振り込め詐欺等の対策について

緑風会 宮本 正一 議員

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて

(質問) 2002ワールドカップキャンプ地招致の成果と課題を踏まえ、2020オリンピックキャンプ地誘致についての考えを聞く。

(答弁) 2002年FIFAワールドカップは世界最大のスポーツの祭典で、鈴鹿市においてもコスタリカナショナルチームの事前キャンプ地として国内外に鈴鹿の

名を発信できたが、イベントで構築される友好関係をいかに継続させるかが課題である。東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う本市の経済波及効果は試算困難であるが、シティセールスや国体開催の機運醸成など波及効果が期待できる。三重県では既にキャンプ地誘致等推進本部が設置されており、本市としても今後は組織委員会が開催するキャンプ地応募要項説明会へ参加するなど、情報収集に努めキャンプ地招致について調査・研究を行う。

その他の質問 ○地域活性化につなげる中・長期計画

公明党 藤浪 清司 議員

地域包括ケアシステムについて

(質問) 少子高齢化が進む中、それぞれの地域がその実情に応じて、医療と介護、健康増進や介護予防の推進、生活支援サービスの拡充などを総合的に進める仕組みである地域包括ケアシステムについて尋ねる。また、高齢者総合電話相談窓口の設置について尋ねる。

(答弁) 地域包括ケアシステムは、住み慣れた地域で、自分らしい人生を続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みを構築するものである。医療・介護・福祉・行政・地域等が参加した「地域ケア会議」や地域包括支援センターとの連携により、課題整理等を進めたい。介護予防事業をベースとした新しいサービスの構築や、認知症初期集中支援チームを設置して、早期診断・早期対応を進めていきたい。自宅に居ながら相談できる電話相談窓口は、課題を整理し検討していきたい。